

## 魔道書大戦 RPG マギカロギア

# narrow

一昨日、世界の遙か先に行く科学技術を元に  
好き放題振る舞う者がいた。

昨日、人知を超える強さ故に世界に疎まれ  
力を隠して生きる者がいた。

そして今日は――。

非日常は日々移ろい、日常は静かに壊れていく。

鍵を握るのは、理想の坩堝。

有り得たかもしれない世界を描く有象無象の物語。

――本当に願セカイいを叶こわしえたいのは、誰？

シナリオスペック

人数：3～4人 リミット：12手番

キャラクター作成：初期作成（第三階梯）

使用ルールブック：基本ルールブック

PC1:シナリオアンカー:壇真弓(だん・まゆみ)／属性:宿敵 推奨経歴:書警

あなたの所属する分科会に、緊急招集がかけられた。話によると、傾向の違う魔法災厄が日替わりで発生しているという。これをひとつの禁書が起こしているとするれば、恐ろしい能力だ。既に先行して調査をしている者もいるらしい。〈大法典〉の威信にかけて、どちらも野放しにはできない。

PC2:シナリオアンカー:黒いノートを持ち主／属性:興味 推奨経歴:司書、異端者

一週間前のこと。あなたは通学路で起きた交通事故の現場に居合わせた。あなたの力か偶然か、幸いにも犠牲者は少なかったものの、飛び散った文具の中に一際目を引く黒いノートが残されていた。忘れ物なら返さなければと思いつつ、時は経ち…あなたの所属する分科会に招集がかけられた。

PC3:シナリオアンカー:十文字ハヤト(じゅうもんじ・一)／属性:支配 推奨経歴:訪問者

あなたは些細ながらも自身にとっては重大な危機に瀕していた。そこに颯爽と男性が現れ、あなたを救ってくれる。彼はあなたにしつこく賞賛と感謝の言葉を求めた後、大勢の若い女性を引き連れて去って行った。魔法使いとしての勘が違和感を訴える。招集がかかったのは、そんな時だった。

PC4:シナリオアンカー:PC1／属性:任意 推奨経歴:書工、外典

あなたの所属する分科会に、緊急招集がかけられた。傾向の違う魔法災厄が日替わりで発生しているという。これをひとつの禁書が起こしているとするれば、恐ろしい能力だ。だがそれ以上に、この件に関するPC1の執心があなたには心配だった。かの魔法使いを自分がしっかりと支えなければ。